



# ほけんだより

ナーサリーにじいろ♥まむ

TEL0178(80)7088

令和5年9月1日発行

残暑は厳しいものの、朝夕の心地よい風に秋の気配を感じるようになる季節の変わり目は、夏の疲れや気温差で体調を崩しやすくなるので「休息と栄養」を心がけて下さい。



## 9月9日は『救急の日』です

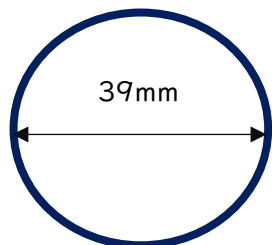


乳幼児は“何が危険か”を予測不可能で好奇心旺盛の怖いもの知らずなので大人が“安全な環境”を整えてあげる必要があります。

### 【家の中の事故を防ぐ】

\*0歳～6歳までの事故の約40%は家の中で起こり、特に命に関わるのが「窒息」です。

### 【小さな物はしっかり管理】



\*3歳児の口の大きさは約4cmなので、4cm以下のものは子どもの手の届かない場所に管理する。

△ボタン電池、ナッツ類、タバコ、薬など飲み込むと危険なものは沢山です。

### 【リビング】

- ※1歳まではリビングでの事故が多発
- ・ソファ等からの転落
- ・タバコ等の誤飲
- ・ストーブでの火傷

### 【キッチン】

- ・炊飯器や電気ポット等、調理器具による火傷
- ・包丁等刃物による怪我

### 【浴室】

- ・残り湯に落ちる等
- ※子どもは5cm程度の水位でも溺れる可能性がある

### 【ベランダ】

- ・台等に登り手すりを越え、転落
- ※3歳以降急増している事故

△子どもの命を守るため、家の中を今一度確認してみましょう

### 【園の避難訓練】

◎園では月に1回避難訓練を行い、地震・火災それぞれの状況に応じた身の守り方を子ども達に伝えています。また、大型災害時の避難の仕方や避難場所の確認も定期的に行い、子ども達の安全を最優先に考え、備えています。

### 【救命講習を受けました】

8月17日、東消防署の救急救命士等3名による、職員全員で乳幼児～大人を対象とした心肺蘇生、AED の使用方法、誤飲の対応方法を学びました。今回学んだ事を、園内外での緊急時の対応処置に役立てていきます。

